

平成30年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

農林水産部

目

次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| I | 平成30年度農林水産部主要施策の成果の概要 | 1 |
| II | 主要事業の内容及び成果 | 7 |
| III | 歳入歳出決算額 | 26 |
| 1 | 一般会計決算額 | 26 |
| (1) | 歳入決算額 | 26 |
| (2) | 歳出決算額 | 27 |
| 2 | 特別会計決算額 | 28 |
| (1) | 歳入決算額 | 28 |
| (2) | 歳出決算額 | 29 |

I 平成30年度農林水産部主要施策の成果の概要

農林水産業を取り巻く環境は、就業者の高齢化による担い手不足や、それに伴う生産力の低下、TPP11や日EU・EPAなどグローバル化の進展に伴う競争の激化等による価格の低迷など様々な課題に直面しており、多くの就業者が将来に不安を抱いている状況が生じている。

こうした状況の中、「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の着実な実行に向け、「グローバル化への対応」を図るため、影響が懸念される畜産・輸出分野の推進方策を取り入れながら、市場開放による環境変化の下でも農林水産業の継続的な生産が可能となるよう、地域の実情に応じたきめ細やかな「守り」と「攻め」の対策を進めた。

また、「もうかる農林水産業の実現」を図るため、「人を『育む』」、「生産を『増やす』」、「マーケットを『拓く』」の好循環を生み出し、所得向上に繋がる各種施策に取り組んだ。

1 人を『育む』 一次代を担う人材への投資

(1) 農業の担い手育成及び確保

専門高校から農業大学校、徳島大学へと連なるキャリアアップシステムの充実や、生産から加工・販売まで一貫した技術を習得する「徳島かんきつアカデミー」などの人材育成塾及び産学官の連携により次世代型農業を進めるアグリサイエンスゾーンにおいて、実践力の高い農業人材の育成を推進するとともに、国の「農業次世代人材投資資金」の活用や農業法人等による技術習得研修の支援、インターンシップの充実などにより新規就農者の確保に努めた。

また、女性の視点を活かした6次産業化などの新たなビジネスプランへのチャレンジを支援し、女性農業者の活躍を促進するとともに、障がい者や高齢者など幅広い人材の就労を支援する労働力確保マッチングシステムの構築などに取り組んだ。

(農林水産政策課、畜産振興課、農林水産総合技術支援センター)

(2) 林業の担い手育成及び確保

現場の即戦力を育成する「とくしま林業アカデミー」での担い手の確保や、女性も働きやすい環境づくり、女性参入を促す「林業体験ツアー」等の開催、県内高校生等への出前授業や就職ガイダンスなどを行うとともに、県内若手林業従事者の活躍をPRすることにより、林業就業者の裾野を広げる取組みを進めた。

また、フォレストサイエンスゾーンでの実践的な技術研修や、主伐に対応する架線集材などの高度な現場研修、新規就業者のフォローアップ研修の実施により、就業者の技術力向上を推進するとともに、定着率の向上に努めた。

(林業戦略課、農林水産総合技術支援センター)

(3) 水産業の担い手育成及び確保

誰もが徳島の漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」を核に、即戦力となる人材を育成・確保するとともに、マリンサイエンスゾーンにおいて、産学官が連携し、地域や水産業を支える漁業人材の育成を推進した。

さらに、経営が不安定な就業初期の青年漁業者等の定着に取り組む漁協への支援、新規就業者の受け皿となる漁業法人の設立の推進など、浜を支える意欲ある担い手の育成・確保に取り組んだ。

(農林水産政策課、水産振興課)

(4) 農林水産関係団体の組織強化と指導の実施

活力ある農林水産関係団体を育成するため、各団体が主体的に取り組む組織再編の支援及び経営基盤の強化を促進した。

(農林水産政策課、林業戦略課、水産振興課、農山漁村振興課)

2 生産を『増やす』 —市場ニーズや地域特性に応じた生産振興—

(1) 水田農業の振興

生産調整の見直しに対応し、活力ある多様な水田農業の実現を図るため、県産米のオリジナル品種の育成や「特A米」取得による競争力強化、県産酒米を100%使用した地酒ブランド「阿波十割」の展開による酒米生産拡大、大規模経営に向けた技術支援など、「徳島ならではの」米づくりを推進した。

また、「経営所得安定対策」を活用し、耕畜連携の強化による飼料用米の地域内流通の促進、海外市場向け米・加工用米等の供給拡大への取り組み支援を行うなど、水田の有効活用による経営の安定化を図った。

(農林水産政策課、農林水産総合技術支援センター)

(2) 園芸農業の振興

本県の農業を支える園芸品目の生産拡大と省力・低コスト化を図るため、主要品目毎の課題解決プログラムの策定・実践による産地や流通の構造改革を進め、足腰の強い園芸産地を創出した。

また、経営の安定化を図るため、関係機関と連携し、本県の気候を活かした野菜の新品目・作型導入や加工業務用野菜の生産拡大に資する「新たな生産モデル」を普及・推進するとともに、果樹の優良な品目・品種への転換、花きの生産技術の向上等を推進し、所得向上に繋げた。

(農林水産政策課、もうかるブランド推進課)

(3) 畜産業の振興

畜産業の振興と経営の安定化を図るため、規模拡大をはじめ、グローバル化に対応するためのブランド化や経営転換等を支援するとともに、「阿波尾鶏」、「阿波牛」、「阿波とん豚」の増産・販売拡大対策を推進した。

また、県産畜産物の販路拡大や海外展開を見据えた「畜産GAP」、「農場HACCP」の認証取得など、国内外の需要を取り込むための環境整備を促進するとともに、飼料自給率向上対策の推進や、畜産バイオマス利活用の促進、家畜伝染病の防疫・衛生対策の強化を図った。

(農林水産政策課、畜産振興課)

(4) 林業及び木材産業の振興

本格的な利用時期を迎える森林資源を有効活用するため、県産材の更なる増産を目指す「新次元林業プロジェクト」を展開し、上空から森林資源を3次元で把握する「航空レーザー計測」を実施し、そのデータを基に路網整備や搬出間伐を強力に進めるとともに、主伐にも対応した先進林業機械の導入や木材加工施設の効率化、大幅に拡大する木質バイオマスの供給体制の整備などを支援した。

また、子育て世代に向けて「木育広場」での木づかい意識の醸成を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックを契機に県産材の販路を拡大するため、首都圏で販売促進活動を展開する商流・物流を熟知した人材を配置するなど、品質の高い県産材の需要拡大を図った。

(農林水産政策課、林業戦略課、森林整備課)

(5) 水産業の振興

本県水産業の潜在的な可能性を最大限に引き出し、「もうかる漁業」の実現を図るため、「とくしま水産創生ビジョン」に基づき、栽培漁業や資源管理型漁業の取り組みを強化するとともに、エシカル消費等の新たな消費動向に対応するため、「水産エコラベル認証」の取得を推進するなど、漁獲量の向上と高品質で安全・安心な水産物の安定供給に向けた取り組みを積極的に展開した。

また、県産水産物の認知度向上や、食育・魚食普及による消費拡大を図るとともに、6次産業化を推進するなど、競争力の高い産地づくりに取り組んだ。

(農林水産政策課、水産振興課)

(6) オープンイノベーションの加速

「アグリ」、「フォレスト」、「マリン」の各サイエンスゾーンにおいて、大学や民間企業の更なる参入を促進し、産学官連携によるブランド力強化のための新品種や生産力向上に資する新技術の開発に加え、IoT・ビッグデータ・AIなど先端技術を活用したスマート化技術の開発を推進し、未来を切り拓く新たなイノベーションの創出を加速した。

また、産地での実証を通じて、開発された技術の現場への速やかな普及を図るとともに、産地が抱える課題について、生産者や関係団体と一体となって迅速な解決に努めた。

(農林水産総合技術支援センター)

(7) 安全・安心な食料の安定的供給

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした持続可能性の高い「エシカル農産物」の需要の拡大に対応するため、「とくしま安²農産物(安²GAP)認証制度・優秀認定」等の一定水準以上のGAP認証取得を推進するとともに、農薬の適正使用の徹底、放射性物質検査の実施、農林水産物の処理・加工や流通施設の整備等により、安全で安心な食料の供給体制を整備した。

また、畜産業に大きな影響を及ぼす高病原性鳥インフルエンザをはじめとする家畜伝染病発生リスクが高まっていることから、飼養衛生管理基準の遵守指導、関西広域連合や四国各県との連携強化等を推進し、家畜伝染病の発生予防・まん延防止に向けた危機管理体制を強化した。

(もうかるブランド推進課、畜産振興課)

(8) 食育・地産地消の推進

徳島の豊かな地域食材を活かし、健全な食生活の実践や野菜摂取量アップを図るため、関係機関や県民との協働により、日本型食生活や郷土料理をはじめとする地域の食文化の普及啓発活動、料理コンクールの開催や若手食育リーダーの育成・支援に取り組んだ。

また、県内に向け県産農林水産物の魅力を発信することにより更なる地産地消を推進するため、地産地消協力店制度を活用したキャンペーンや農林水産物直売所の魅力向上のための取組みを支援した。

(もうかるブランド推進課)

3 マーケットを『拓く』 ー需要拡大に向けた販売力強化ー

(1) 進化するとくしまブランドの展開

もうかる農林水産業の実現を図るため、「進化する・とくしまブランド戦略」に基づき、首都圏、関西、県内、海外の各マーケットの実情に応じた最適な販売戦略を展開した。

また、これら各マーケットを横断する取組みとして「とくしまブランド推進機構」によるマーケットイン型の生産・販売振興、東京・渋谷に展開する「Turn Table」での情報発信、2台の「PR車両」による攻めのプロモーション、さらに、新物流システムの構築やインフルエンサーと連携した発信力の強化など、「推進ツール」のフル活用と「新たなトレンド」を活かしたブランディングを行い、本県の豊かな食「阿波ふうど」の認知度向上と販売拡大に取り組んだ。

(もうかるブランド推進課、水産振興課)

(2) 6次産業化の促進

県産農林水産物に新たな付加価値を生み出し、消費拡大や新たな需要創出を図るため、生産者と流通関係事業者、食品加工事業者等と地域の協働による6次産業化や農工商連携に向けた取組みを推進するとともに、市町村や大学、金融機関等と連携し、首都圏での販路開拓等に取り組んだ。

また、徳島大学「生物資源産業学部」をはじめ教育・研究機関等との連携強化を図るとともに、オープンラボ機能を備える六次産業化研究施設の活用を促進し、農業者等による自らのアイデアの具現化に向けた新たな商品開発の取組みを支援した。

(農林水産政策課、もうかるブランド推進課、農林水産総合技術支援センター)

(3) 海外展開の促進

「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」に基づき、これまで開拓してきた「販売ルートの強化」や「新規マーケットの開拓」を進めた。
また、新たな輸送ルートの検討や鮮度保持技術の確立、新たに輸出に取り組む事業者の育成など、とくしまブランドの一層の海外展開に取り組んだ。
さらに、台湾をはじめ、東・東南アジアで展開する「県産材ショールーム」を活用し、県産材製品の魅力発信を推進した。
(農林水産政策課、もうかるブランド推進課、林業戦略課)

4 生産を『支える』 — 強靱な生産基盤の整備 —

(1) 農業生産基盤の整備及び保全

「とくしまブランド」をはじめとする本県の特徴ある農産物を効率的かつ安定的に生産するため、ほ場の整備、農業用水のパイプライン化等の農業生産基盤の整備を推進するとともに、安定的な農業経営を支えるため、老朽化した用排水施設の点検や診断に基づく施設の機能保全に取り組んだ。
また、農業生産の基盤である農地の利用の効率化・高度化に向け、「農地中間管理機構」との連携により、規模拡大を志向する担い手への農地集積を促進するとともに、地域の実情に合った作物導入を推進し、耕作放棄地の発生防止及び解消を図った。
(農林水産総合技術支援センター、生産基盤課)

(2) 林業生産基盤の整備及び保全

I C Tを活用し、森林の地図情報の3 D化を図るとともに、徳島ならではの「新たな森林管理システム」の構築に向けた協議を進め、森林境界の明確化や施業地の集約化を促進するとともに、生産性の向上や森林の適切な管理に不可欠な林道・林業専用道・森林作業道等の路網整備を推進した。
また、県有林化の推進や市町村有林化の支援を行う「徳島県公有林化等推進基金」により、水資源及び県土の保全機能の高い重要な森林の取得を推進するとともに、「保安林」及び「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「県版保安林」の指定を拡大し、水源のかん養や土砂災害の防備など森林が持つ公益的機能の維持増進を図った。
(林業戦略課、森林整備課)

(3) 漁業生産基盤の整備及び保全

生産性が高く安全で快適な漁村づくりを行うため、漁港及び海岸の整備を計画的に推進した。
また、安定的な水産業経営を支えるため、老朽化した漁港及び海岸施設の点検や、診断に基づく施設の機能保全に努めた。
さらに、環境に与える負荷の軽減や漁業被害の防止を図るため、掃海作業を支援するとともに、稚魚の育成場であり水質浄化機能も有する藻場の造成を推進した。
(水産振興課、生産基盤課)

(4) 南海トラフ・直下型地震への対応

「『とくしまー0作戦』地震対策行動計画(徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画)」に基づき、海岸保全施設の調査、補強・整備や老朽ため池等の整備、農業水利施設の長寿命化・耐震対策等を推進した。
また、南海トラフ巨大地震による津波や内陸部の直下型地震により甚大な被害が想定される農地や土地改良施設などにおいて、速やかな営農再開ができるよう、「農業版BCP」の実効性の向上を図るとともに、復旧・復興の迅速化に向けて、「津波浸水地域」や「中央構造線関連地域」など防災・減災対策関連の「重点エリア」における地籍調査を促進した。
さらに、「県漁業版BCP」に基づき、漁業関係団体におけるBCP作成の支援を行うとともに、関係漁協等と連携した海上避難訓練を実施するなど、大規模災害に備えた事前対策を推進した。
(水産振興課、農山漁村振興課、生産基盤課、森林整備課)

(5) 自然災害等への対応

台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害の未然防止や地すべり防止区域における被害の防止・軽減対策を実施するとともに、危険箇所の日常点検を推進し、ハード・ソフトの両面から計画的な防災・減災対策に取り組んだ。

また、河川流域の開発等による状況変化により湛水被害が頻発する地域において排水施設を整備することにより、被害の発生を未然に防止した。
(生産基盤課，森林整備課)

5 地域を『守る』－活力と魅力にあふれた農山漁村の創出－

(1) 多様な主体による協働活動と農林水産業への参画

県民等が農林水産業に関する理解を深められるよう、体験や学習の場を提供するとともに、農山漁村地域での協働活動を促進した。

また、企業・団体等との協働の森づくりや、県・市町村・林業団体をはじめボランティアや企業が参画する「とくしま森林づくり県民会議」による県民総ぐるみの森づくりを推進した。

(林業戦略課，農山漁村振興課)

(2) 都市農村交流と移住・定住の促進

多様な農林水産業や豊かな自然を活用した農山漁村の活性化を図るため、食文化や農村景観など地域の魅力を引き出し、情報発信するとともに、農林漁家民宿や体験施設の受け入れ体制を強化して「農泊地域」へ育成することにより、都市と農山漁村との交流や地域の所得向上に向けた取組みを実施した。

また、企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」と「農山漁村の地域住民」との協働活動を通じて交流の促進を図った。

(鳥獣対策・ふるさと創造課，農山漁村振興課)

(3) 中山間地域等への支援

集落ぐるみで地域農業を支え、耕作放棄の防止や多面的機能の確保を図るため、「日本型直接支払制度」を効果的に活用するとともに、住民自らが行う地域資源を活用した「将来ビジョン」の作成から実践までをパッケージとした支援や、きめ細やかな生産基盤や生活環境の一体的な整備を行い、魅力ある地域づくりを推進した。

また、徳島の林道に関する交通規制情報や林道マップなどを発信する「とくしま林道ナビ」を充実させ、多様化する利用者のニーズにワンストップで応えることで林道利用の推進を図り、中山間地域の活性化につなげた。

(鳥獣対策・ふるさと創造課，農山漁村振興課，森林整備課)

(4) 鳥獣による被害の防止

野生鳥獣による農作物等の被害防止をより効果的に進めるため、関係機関と連携し、地域における指導的役割を担う人材の育成や、被害ゼロを目指すモデル集落の県下全域への普及、効果的な被害防止対策技術の実証・普及など、集落対策を軸とした防護に取り組むとともに、野生鳥獣の個体数管理や捕獲の担い手育成など、捕獲対策を推進した。

また、捕獲したシカなどをジビエとして利活用する取組みについて、捕獲から消費まで一貫した総合的な対策を推進した。

(鳥獣対策・ふるさと創造課)

(5)地球環境の保全への貢献

農山漁村地域の活性化を図るため、地域に豊富に存在する自然エネルギーを活用した小水力発電施設の導入に向けた取組みの支援や、バイオマスの有効利用を検討・促進した。

また、生産活動によって発生した使用済み農業用フィルムの安定的な処理体制の確立や、農業者（排出者）への意識啓発に努め、更なる回収率の向上を図った。

さらに、豊かな森林資源を守り育て、自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、間伐や造林などの適切な森林整備を継続的に進め、森林による吸収源対策を促進した。

(もうかるブランド推進課，畜産振興課，林業戦略課，農山漁村振興課，森林整備課)

(6)地球温暖化への対応

地球温暖化に対応し、高温環境下でも安定した生産を行うため、高温耐性を持つ水稻品種「あきさかり」や高水温に強いワカメなど、新品種の導入促進や新技術の開発等に取り組んだ。

また、台風や集中的な豪雨による災害の未然防止のため、農業用排水施設、農業用ため池及び治山施設の整備・保全、漁港施設の嵩上げなどを推進した。

(農林水産総合技術支援センター，生産基盤課，森林整備課)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|------------------|------------------------------|--|
| 1 人を『育む』 | | |
| (1) 農業の担い手育成及び確保 | 農業近代化資金融資事業 | 農業者等の経営の近代化を図るため、農業近代化資金を融資した融資機関に対して利子補給を行った。 (18,988) |
| | 明日の畜産後継者！技術向上プラスワン事業 | 畜産後継者を地域の畜産技術者へと育成するため、家畜人工授精等の技術修得に向けた実践研修を実施した。 (1,200) |
| | 生産体制・技術確立支援事業 | 農業就業人口の減少や高齢化等による労働力不足を解消するため、JAや福祉施設等と連携し、障がいのある方や高齢者等地域の幅広い人材の就労を支援するマッチングシステムの構築を支援した。 (674) |
| | アグリサイエンスゾーンを活用した次世代人材育成加速化事業 | 次世代の農業人材の育成を図るため、農業大学校において、最新食品加工機器を使用した実習を行うとともに、六次産業化研究施設を活用し、農業者の加工技術の習得と新たな商品開発の支援を行った。 (2,167) |
| | 農業人材力強化総合支援事業 | 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付した。 (331,338) |
| | 次代を担う農業人材・経営体育成事業 | 就農希望者の円滑な就農を図り、次代の担い手として育成・確保するため、農業現場でのインターンシップを実施するとともに、農業法人等が実施する実践的な技術研修を支援した。 (23,100) |
| | 女性が変わる未来の農山漁村づくり事業 | 次代を担う女性農業者の活躍促進やスキルアップを図るため、農業女子会を開催するとともに、女性が取り組む新たな農業ビジネスへのチャレンジを支援した。 (1,904) |
| | 農業経営者サポート事業 | 認定農業者、農業法人等の経営意欲のある農業者が創意工夫を生かした農業経営の展開を図るため、農業経営相談所が行う農業経営の法人化の促進や専門家派遣による経営改善活動への支援を行った。 (6,475) |
| | 農村青少年活動促進事業 | 農業への理解や就農への意欲を高め、地域農業の担い手としての資質向上を図るため、農業大学校のオープンキャンパスを開催するとともに、農村青少年グループや青年農業士の活動を支援した。 (1,200) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------------|------------------|---|
| (2) 林業の担い手育成及び確保 | とくしま林業アカデミー事業 | <p>新たな林業の担い手を確保するため、現場での即戦力となる人材を養成する「とくしま林業アカデミー」の運営を支援するとともに、県内高校生等への啓発活動やUIターンによる人材確保に向けた「職業としての林業」の啓発等を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(57,201)</p> |
| | 山の仕事師パワーアップ事業 | <p>新規林業従事者の確保及び就業後のアフターフォローのため、若手林業従事者が県内で活躍する動画の作成・放映や、林業事業体の管理者等を対象とした研修などを実施した。</p> <p style="text-align: right;">(3,280)</p> |
| | 「森林女子」就業推進モデル事業 | <p>労働環境の改善や新規就業者の増加を図るため、女性をはじめとする作業員が継続して従事できる環境づくりや、女性進出のきっかけとなるよう体験会を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(2,781)</p> |
| | とくしま木づかい運動推進事業 | <p>県産材利用を促進するため、「とくしま木づかい県民会議」において新たな木材利用の調査研究や木づかいの普及啓発などを行うとともに、木造に秀でた建築士の育成を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(3,482)</p> |
| | フォレストサイエンス人材育成事業 | <p>高度な知識と技術を備えた林業人材の育成を図るため、フォレストサイエンスゾーンにおいて、林業の現場で欠かすことのできない資格の取得及び専門的な知識や技術を習得するための研修を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(6,392)</p> |
| (3) 水産業の担い手育成及び確保 | 漁業金融指導事業 | <p>漁業者等に対し金融機関が行う長期かつ低利の資金の融通を円滑にするため、利子補給を行い、漁業者等の経営の近代化や漁業生産の中核的担い手の育成を図った。</p> <p style="text-align: right;">(7,704)</p> |
| | 沿岸漁業改善資金貸付事業 | <p>沿岸漁業従事者等の経営もしくは操業状態又は生活を改善するため、無利子の資金の貸付を行い、沿岸漁業の経営の健全な発展や生産力の増大を図った。</p> <p style="text-align: right;">(726)</p> |
| | 漁業担い手対策総合支援加速化事業 | <p>漁業就業者を育成・確保するため、「とくしま漁業アカデミー」による漁業人材の養成を核とし、就業直後の漁業者の支援や漁業の協業・法人化の促進により、漁業の担い手対策を図った。</p> <p style="text-align: right;">(28,210)</p> |
| (4) 農林水産関係団体の組織強化と指導の実施 | 農業協同組合指導費 | <p>農業協同組合等の健全な発展を図るため、農業協同組合等の組織体制の強化や、事業運営の適正化に向けた指導・監督を行った。</p> <p style="text-align: right;">(790)</p> |
| | 森林組合育成指導費 | <p>林業の中核的担い手として森林組合を育成するため、指導や研修を行った。</p> <p style="text-align: right;">(756)</p> |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------|-----------------------|---|
| (1) 水田農業の振興 | 水産業協同組合指導費 | 漁協の経営基盤の強化を図るため、水産関係団体と連携して、漁協の財務調査及び経営計画の策定指導を行うとともに、事業統合や合併等への取組みを支援した。 (222) |
| | 水土里ネット体制強化事業 | 土地改良区(愛称：水土里ネット)の財政基盤、組織基盤の強化を図るため、「次世代ネットワーク」による若手職員の育成、土地改良施設の診断・管理指導及び会計指導を行うとともに、統合再編整備を推進した。 (3,023) |
| | 徳島県農林水産業未来創造基金積立金 | 日EU・EPAやTPP11をはじめとする進展するグローバル化への影響に的確に対応するため、意欲ある農林漁業者が未来を志向し、次代に継承できる農林水産業の創出に必要な基金を造成した。 (500,270) |
| | 農山漁村未来創造事業 | グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組みを支援した。 (288,285) |
| | 「先駆け！」とくしま水田農業対策展開事業 | 生産調整の見直しに対応するため、地域農業再生協議会等が地域水田フル活用ビジョンに基づく農業者への需要に応じたコメ生産を推進するための取組みを支援した。 (4,720) |
| | 経営所得安定対策等推進事業 | 経営所得安定対策の円滑な実施を図るため、地域農業再生協議会等が行う制度周知、作付面積の確認、水田台帳の管理業務等を支援した。 (56,079) |
| | 競争に打ち勝つ！徳島新たな米づくり展開事業 | 生産調整の見直しに伴うコメ農家の経営安定を図るため、新品種育成や食味向上、地場産業と一体となったコメ戦略、新技術等を生かした生産の効率化など、徳島ならではの米づくりを推進した。 (1,211) |
| (2) 園芸農業の振興 | 戦略作物生産拡大支援事業 | 米の消費量の減少が続く中、米の需給改善を図るため、輸出用米や飼料用米など様々な用途の米について、多収品種や技術の導入実証に取り組み、需要に応じた生産拡大を推進した。 (910) |
| | 産地パワーアップ事業 | 地域農業の収益力向上のため、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、計画の実現に必要な農業機械のリースや集出荷施設等の整備を促進することにより、意欲ある農業者等の高収益な作目・栽培体系への転換の取組みを支援した。 (151,678) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------|--|--|
| (3) 畜産業の振興 | チャレンジ産地構造改革事業 | 市場のニーズに応じたマーケットイン型の産地づくりを推進するため、「とくしまブランド推進機構」と連携し、新たな品目、品種、作型等を導入した生産モデルを構築した。 (6,185) |
| | とくしまブランド産地リノベーション事業 | とくしまブランド品目を支える産地の維持を図るため、生産振興・担い手育成・流通販売の3つの視点での「課題解決プログラム」を策定し、その解決に向けた集中的な取組みを実施した。 (2,610) |
| | 野菜経営安定対策事業 | 野菜農家の経営安定と消費者への安定供給を図るため、野菜の価格が補償基準額以下に下落した場合、生産者へ補填金を交付し、生産者の経営に及ぼす影響を緩和した。 (112,970) |
| | 阿波ふうど機能性表示事業 | 本県農産物の高付加価値化や販路拡大等を推進するため、消費者庁により平成27年度に開始された「機能性表示食品制度」における県内生産者等の届出を支援する科学的根拠(システムティックレビュー)の作成を行った。 (7,967) |
| | 「農福連携とくしまモデル」構築事業 | すくも用タデ藍の増産を図るため、藍師のニーズと障がい者就労支援施設の農業参入ニーズをマッチングするとともに、栽培・収穫・乾燥についての技術支援を行い、農福連携による藍生産とくしまモデルを構築した。 (600) |
| | 明日の畜産後継者！技術向上プラスワン事業(再掲) | 畜産後継者を地域の畜産技術者へと育成するため、家畜人工授精等の技術修得に向けた実践研修を実施した。 (1,200) |
| | “一歩先行く阿波の畜産”GAP&HACCPチャレンジ加速事業 | 本県畜産物の更なるブランド化や販路拡大を図るため、「GAP&HACCP」の認証取得やグローバル化を見据えた販路拡大等、生産者の意欲的なチャレンジを支援した。 (3,350) |
| | 「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業 | 本県養豚産業の活性化を図るため、受精卵移植技術の活用等、新たな増殖技術による「阿波とん豚」の飛躍的増産に向けた取組みを強化するとともに、ICTを活用した流通体制システムを確立した。 (7,138) |
| | 「次代へつなぐ！とくしまの畜産」ブランド化推進事業 | グローバル化の進展に備え、県内畜産のブランド化や規模拡大・経営転換を推進するため、経営診断や指導、助言を実施した。 (993) |
| 肉用牛肥育経営安定対策担い手支援事業 | 肉用牛農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度に係る積立金の助成を行った。 (6,665) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------|-------------------------------|--|
| | 肉用子牛価格安定事業 | 肉用子牛生産農家の経営安定を図るため、肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用子牛価格の低落時に、生産者に対し補給金を交付するための基金造成を実施した。 (2,004) |
| | 養豚経営安定対策担い手支援事業 | 養豚農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度に係る積立金の助成を行った。 (5,329) |
| | 中規模酪農経営改善推進事業 | 中規模酪農家の収益力を強化するため、受精卵移植技術を活用した和子牛生産の定着と人工哺育・育成技術の高度化を図るとともに、牛群検定の普及を推進した。 (1,507) |
| | 家畜改良総合対策推進事業 | 酪農家や肉用牛農家の経営安定を図るため、受精卵移植技術を活用した牛の育種改良を推進するとともに、関係機関が連携し、受精卵の生産から移植、産子登録まで一貫した支援を行った。 (7,345) |
| | 自給飼料対策事業 | 自給飼料基盤に立脚した畜産経営の育成を図るため、新技術の普及等を通じて、自給飼料の増産を推進した。 (396) |
| | 畜産バイオマス利活用推進事業 | 畜産経営における環境汚染の発生防止や家畜排せつ物の適正管理及び利用の促進を図るため、畜産環境保全に係る推進・指導を行った。 (531) |
| | 畜産バイオマス利活用整備事業(食鳥副産物有効利用促進事業) | 県内食鳥産業の振興と畜産環境の保全を図るため、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。 (28,648) |
| (4) 林業及び木材産業の振興 | 県産材増産強化支援事業 | 県産材の増産体制を強化するため、生産性を高める主伐等に対応した高性能林業機械の導入や、主伐事業地における架線架設などを支援した。 (212,773) |
| | 徳島すぎブランドエージェント活動推進モデル事業 | 首都圏における「徳島すぎブランド」の販路拡大を図るため、商流・物流を熟知し、情報ネットワークを有する「徳島すぎブランドエージェント」による営業活動を実施した。 (4,591) |
| | もっと木にして子育て支援事業 | 県産材利用促進条例に即して、木育の普及を図るため、木育の体験施設「すぎの子木育広場」を県下に展開し、県産材の利用拡大につなげた。 (5,856) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------|-----------------------|--|
| (5) 水産業の振興 | 森林基盤整備事業 | 「新次元林業プロジェクト」を推進し、山村地域の活性化を図るため、適正な森林整備や効率的な木材生産の基盤となる林道を整備した。 (1,962,220) |
| | 県単独林道事業 | 林業の効率的な経営と山村地域の振興に資するため、小規模な林道の開設・改良等の助成及び施設整備を実施した。 (112,094) |
| | 資源回復計画推進事業 | 本県の水産資源を適正に管理するため、「徳島県資源管理指針」の進行管理及び関係漁協が策定した「資源管理計画」の履行に必要な指導を実施した。また、漁獲情報を迅速・的確に収集解析するため、「漁獲管理情報処理システム」を適切に運用した。 (5,936) |
| | 種苗生産施設管理費 | 放流種苗の計画的な供給を図るため、種苗生産施設の運営、管理を行った。 (138,933) |
| | 浅海内水面増殖対策費 | 河川における重要魚種であるアユの資源維持・増大を図るため、漁業者が行う種苗放流に対し支援を行った。また、カワウによるアユなどの水産上重要な魚種に対する被害を防止するため、漁業者等が行う状況調査及び防除対策等の取組みを支援した。 (3,423) |
| | とくしまの活鱧ブランド力向上事業 | 徳島県産はもの地位をより確かなものとするため、平成30年に10周年を迎える「徳島の活鱧料理味わいキャンペーン」を強化するとともに、「三大はも祭り」や「はもの日」に合わせたPRを実施した。 (2,499) |
| | 水産エコラベル認証取得促進事業 | 養殖業を中心に水産エコラベルの認証取得を推進するため、認証の取得に係る審査費用の一部を助成した。 (909) |
| | 鳴門わかめブランド力向上事業 | 「鳴門わかめ」に対する消費者の信頼を高めるため、「適正な食品表示」、「加工履歴管理」を行う加工業者の認定を行うとともに、認定事業者の商品に「認証マーク」を表示することを可能とする「徳島県鳴門わかめ認証制度」の推進を図った。 (289) |
| (6) オープンイノベーションの加速 | ブランド産品生産拡大拠点整備事業 | 全国シェアの大きい生しいたけや熱帯果樹等の生産性及び品質向上を図るため、きこの栽培研究に特化した実験施設を整備するとともに、環境制御が可能な果樹用栽培ハウスを増設することにより、高温期における新規きこの品目の栽培技術の確立や、気候変動に対応した果樹栽培技術の確立に取り組んだ。 (26,927) |
| | 「阿波牛」生産性・所得向上プロジェクト事業 | 本県ブランド「阿波牛」の生産性と畜産農家の所得の向上を図るため、肉用種雄牛の飼育及び精液採取・保管のための施設を整備し、肉質や増体に関する遺伝的能力が高い肉用種雄牛の造成と生産者への精液の供給体制を推進した。 (84,539) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------------|-------------------------------|---|
| | 県産材新用途開発研究拠点整備事業 | <p>フォレストサイエンスゾーンの拠点である「木材利用創造センター」の機能充実を図るため、県産材の新たな需要開拓に向けた研究施設の機能強化や、高度な技術を有する担い手を育成する環境整備を行った。</p> <p style="text-align: right;">(145,301)</p> |
| | 農林水産物の増産や販売力強化を支える研究開発事業 | <p>農林水産業の成長産業化を技術面から支えるため、生産現場の課題やニーズを的確に把握し、新たな技術や新品種の開発を行った。</p> <p style="text-align: right;">(11,858)</p> |
| | 革新的技術開発推進事業 | <p>もうかる農林水産業の実現を図るため、外部資金の獲得により革新的技術開発を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(7,919)</p> |
| | とくしまスマートアグリ推進事業 | <p>農業分野におけるインダストリー4.0を強力に推進し、農業を魅力ある産業に転換するため、IoT、AI等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする技術開発を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(6,528)</p> |
| | 現場課題トータルサポート実装促進事業 | <p>多様化・高度化する生産現場の課題に対応するため、生産現場における産学官連携により、現場ニーズに即した円滑な技術開発を行うとともに、先端技術の導入を希望する農業者に対し、導入や普及を推進するための実証研究を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(4,600)</p> |
| | 農林水産オープンイノベーション推進事業 | <p>農林水産業の成長産業化を図るため、産学官それぞれの強みを活かしたオープンイノベーションの推進により、スマート化技術の開発や6次産業化、食品の機能性を活用した新たな需要の創出、気候変動に対応する新品種開発など、革新的な技術開発を進めた。</p> <p style="text-align: right;">(24,862)</p> |
| (7) 安全・安心な食料の安定的供給 | みんなが主役！東京オリ・パラ「阿波ふうど」でおもてなし事業 | <p>GAP及び有機農産物等オリ・パラ対応食材の生産拡大等を支援するため、東京オリ・パラにおける事前キャンプ誘致や食材供給を通じ、県産品の認知度向上、販路拡大を図った。</p> <p style="text-align: right;">(13,893)</p> |
| | 学ぼう！選ぼう！とくしまエンカル農産物消費拡大推進事業 | <p>GAP農産物等の持続可能性の高い農産物を「とくしまエンカル農産物」と位置づけ、需要拡大につなげるため、PR活動により消費者の理解向上に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(2,636)</p> |
| | 農薬安全使用等総合推進事業 | <p>農薬の適正な使用・販売を推進するため、農薬危害防止運動、研修会、農薬販売者に対する指導取締り等を実施するとともに、農薬適正使用アドバイザー及び農薬管理指導士の認定研修等を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(3,439)</p> |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----|----------------------|--|
| | みんなで環ガエル農業推進事業 | 病虫害のまん延による農作物の重大な損害を防ぐため、適期防除を推進する発生予察や未発生病害虫の侵入警戒調査、I P M (総合的病害虫・雑草管理) 技術体系を確立した。 |
| | | (2,012) |
| | 持続可能な農業づくり対策事業 | 環境に優しい農業の推進を図るため、エコファーマーの育成や生産物のPR活動を行うとともに、農作業安全の意識啓発を図り、農業者(人)にも優しい安全安心な農業を推進した。 |
| | | (2,870) |
| | 環境保全型農業支払事業 | 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い環境保全型農業を推進するため、化学肥料や化学合成農薬を5割以上低減する取組みに対して支援した。 |
| | | (7,489) |
| | 自衛防疫・自主管理強化対策事業 | 畜産農家の衛生意識の高揚や家畜伝染病の発生防止を図るため、農家指導や衛生管理情報の普及伝達を実施した。 |
| | | (146) |
| | とくしま安心安全動物医薬品適正指導事業 | 畜水産物の安全性と信頼性を確保するため、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」等の遵守指導を強化するとともに、ポジティブリスト制度に適合した動物用医薬品の総合的な監視、指導を実施した。 |
| | | (548) |
| | 徳島県産業動物獣医療安定確保推進事業 | 獣医療法に基づき本県産業動物獣医療の安定的確保のため、家畜保健衛生所職員の診療業務に係る技術習得等診療体制を整備した。 |
| | | (1,947) |
| | 徳島県獣医師職員養成・修学資金貸与等事業 | 本県の家畜防疫対策や食の安全性確保対策等、重要な役割を担う獣医師職員を確保するため、獣医学生に対する修学資金の貸与や、県機関でのインターンシップを実施した。 |
| | | (1,663) |
| | 家畜伝染病予防事業 | 口蹄疫、豚コレラや高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づき、検査等を実施した。 |
| | | (23,280) |
| | 病性鑑定機能強化事業 | 家畜伝染病等による経済的損失を最小限に抑えるため、各種疾病を迅速かつ的確に診断するとともに、今後の発生予防など家畜防疫対策の指標とした。 |
| | | (5,026) |
| | 牛海綿状脳症検査事業 | 牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、B S E の発生予防及びまん延防止を図り、安全な牛肉を供給するため、48ヶ月齢以上の死亡牛全頭についてB S E 検査を実施した。 |
| | | (5,327) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---|---|--|
| (8) 食育・地産地消の推進 3 マーケットを『拓く』 (1) 進化するとくしまブランドの展開 | 高病原性鳥インフルエンザ防疫体制強化事業 | 高病原性鳥インフルエンザの発生に備えるため、野鳥の監視対策を強化するとともに、初動防疫体制を整備した。 (1,887) |
| | 高病原性鳥インフルエンザ防疫体制整備事業 | 防疫対策と発生予防対策の充実・強化を図るため、防疫資材の確保及びウイルス遺伝子検査や殺処分を迅速かつ円滑に行う機器の整備を進めるとともに、農場から食鳥処理場まで一体となった訓練を実施し、防疫体制の強化を行った。また、生産者の衛生管理技術向上につながるGAP講習会を行った。 (24,005) |
| | とくしま食育・地産地消推進事業 | 若い世代を中心とした食育推進や、県民の地産地消やエシカル消費への意識向上・地域活性化の推進を図るため、県産食材を活かした料理コンクールを開催するとともに、地産地消協力店と連携したキャンペーンの実施や直売所の魅力向上の取組みを支援した。 (4,184) |
| | 進化する・とくしまブランド戦略事業 | 「進化する・とくしまブランド戦略」の早期実現を図るため、首都圏で強力な機能を持つ企業と連携した集中的PRなど、市場に合わせた戦略的なプロモーション活動を展開した。 (27,633) |
| | 阿波ふうど消費地プロモーション進化学業 | 首都圏市場と関西市場において、県産品の販売を維持拡大するため、それぞれの実情やニーズに応じたオーダーメイド型の販売対策を実施した。 (7,520) |
| | 「とくしまブランド推進機構」展開事業 | マーケットイン型の産地づくりと県産品の販路拡大を加速するため、生産・流通・販売をトータルサポートする「とくしまブランド推進機構」の安定的な活動を推進した。 (28,127) |
| | Turn Table魅力発信事業 | 首都圏において県産品のブランドイメージを構築するため、情報発信と交流の拠点「ターンテーブル」の安定的かつ効果的な運営を推進した。 (51,764) |
| | 阿波ふうど機動力発揮ブランディング事業 | 県内外で県産品の認知度向上と販路拡大を加速するため、2台のPR車両の機動力と調理能力を活かした「攻めのプロモーション活動」を展開した。 (23,888) |
| 阿波ふうど「空飛ぶ」ブランド創出モデル事業 | 県産品の首都圏に向けた販路拡大と物流の効率化を図るため、航空便等の活用における現状分析や課題抽出を行い、首都圏への効率的な物流モデルの構築・実証を実施した。 (4,701) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|--------------|----------------------------------|---|
| | 阿波ふうど高付加価値化事業 | 「とくしま特選ブランド」のプレミアム感を高め、販路拡大を促進することによる事業者の経営安定を図るため、商品の更なるブラッシュアップや新たな販路拡大を支援した。 |
| | | (3,632) |
| | 阿波ふうどスペシャリスト事業 | 徳島の食「阿波ふうど」の魅力や価値に共感するファンを全国に拡げるため、情報発信サポーターである「阿波ふうどスペシャリスト」の拡大や積極的な活動と交流を促進した。 |
| | | (1,575) |
| | 「阿波ふうど」に感動・インバウンドおもてなし事業 | 海外からの誘客促進や、「阿波ふうど」の需要・輸出の拡大を図るため、国際スポーツ大会や大型クルーズ船の寄港により、海外から来県される方等へ、「食のおもてなし」により「阿波ふうど」の魅力を発信した。 |
| | | (7,913) |
| | とくしまの活鱧ブランド力向上事業(再掲) | 徳島県産はもの地位をより確かなものとするため、平成30年に10周年を迎える「徳島の活鱧料理味わいキャンペーン」を強化するとともに、「三大はも祭り」や「はもの日」に合わせたPRを実施した。 |
| | | (2,499) |
| (2) 6次産業化の促進 | 6次産業化商品の販路開拓協働事業 | 「オール徳島体制」による6次産業化商品等の販路開拓を推進するため、産学官金連携による商品開発や大規模展示会への共同出展を実施した。 |
| | | (16,863) |
| | 藍・食藍総合推進事業 | 藍の生産・利用拡大を図るため、関係者が連携した「藍サミット」を開催し、「藍」の国内外への発信を行うとともに、産学官連携による機能性等の研究により、新たな商品開発を支援した。 |
| | | (6,980) |
| | バリューチェーン構築サポート事業 | 県産品の販路拡大を推進するため、首都圏の大規模展示会への県内事業者の出展を支援するとともに、「新たな価値」の創造に向けた知財制度の普及・活用を支援した。 |
| | | (5,163) |
| | 徳島県食料産業・6次産業化交付金事業 | 6次産業化の取組みを支援するため、各分野の専門家である6次産業化プランナーの派遣等による支援体制の整備や人材育成研修等を開催した。 |
| | | (11,889) |
| | アグリサイエンスゾーンを活用した次世代人材育成加速化事業(再掲) | 次世代の農業人材の育成を図るため、農業大学校本科において、最新食品加工機器を使用した実習を行うとともに、六次産業化研究施設を活用し、農業者の加工技術の習得と新たな商品開発の支援を行った。 |
| | | (2,167) |
| (3) 海外展開の促進 | とくしまブランド海外プロモーション事業 | 輸出戦略で「重点国・地域」に位置付けたアジア等への県産品の更なる需要の拡大を図るため、現地大型量販店でフェアを開催し、プロモーションを展開した。 |
| | | (2,587) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----|---------------------|--|
| | 農畜水産物海外輸出ネットワーク構築事業 | 生産者等の海外輸出への取組みを後押しするため、実践的な輸出サポートをワンストップで実施する「農畜水産物等輸出サポートセンター」による支援を実施した。 |
| | | (1,500) |
| | 検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業 | 検疫条件等に対応した輸出型産地の拡大を図るため、新たな輸出型園地として、ベトナム向け梨の園地整備や、検疫対応を支援した。 |
| | | (6,907) |
| | 徳島から発信！「ハラール」展開事業 | 約16億人の巨大市場を擁する「ハラールマーケット」を開拓するため、「ハラール認証」のためのセミナー開催や、マレーシアの量販店でフェアを開催し、本県産品のPRを行った。 |
| | | (4,535) |
| | “稼ぎ頭”海外展開事業 | 「牛肉」の輸出拡大を図るため、牛肉輸出が解禁されたマレーシアにおいて、富裕層をターゲットとしたプロモーションを実施した。 |
| | | (417) |
| | 生鮮品・加工品のハイブリッド戦略事業 | 「とくしま三大香酸かんきつ」のスイーツへの応用を進め、さらなる輸出拡大を図るため、「サロン・デュ・ショコラ」へ連続出展し、生鮮品と加工品のセットプロモーション等を展開した。 |
| | | (643) |
| | 徳島県産海外コールドチェーン構築事業 | EUへのかんきつ輸送の試験を実施するとともに、現地での営業活動を実施し、輸送面及び販売面の一貫したサポートを行った。 |
| | | (121) |
| | とくしまの花満開！花き輸出拡大事業 | 県産切り花の米国でのブランドの浸透と取引拡大を図るため、現地でのプロモーションを実施した。 |
| | | (709) |
| | 新規輸出セールストライ事業 | フランスで開催された「Sirha2019」に参加し、EU市場での新規販路開拓を支援した。 |
| | | (1,105) |
| | 「食」がおりなす6次化産品海外展開事業 | 海外現地食文化と県産食材の融合により輸出の定着を図るため、現地食文化に合った県産食材のメニューづくりや情報発信を推進した。 |
| | | (1,973) |
| | 世界の荒波「武者修行」事業 | 生産者の輸出に関する能力や意欲の向上、新たな販路開拓を促進するため、生産者の現地でのマーケティング調査やバイヤーとの直接相談等を支援した。 |
| | | (656) |

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------|----------------------------|--|
| | 成長するASIAを拓け！「輸出ハイウェイ」展開事業 | 重点品目「なると金時」、「阿波尾鶏」等の輸血量拡大を図るため、大型取引が見込まれる業務需要やアッパーミドル層などの新規需要開拓に取り組んだ。 (16,056) |
| | とくしま輸出バリューチェーン構築強化事業 | 本県農林水産物の輸出のさらなる拡大を図るため、輸出に取り組む生産者等の輸出規模や、現在抱えている課題解決に対応した、きめ細やかな支援を実施した。 (1,388) |
| | ネクストハラールアラビア開拓事業 | 全国屈指の認証数を誇る「徳島生まれのハラール商品」を売り込むため、「ガルフード」に出展し、販路開拓を支援した。 (1,718) |
| | 真打ち登場！EU「SUDACHI」ブランディング事業 | 「すだち」を日本の香酸かんきつの実「SUDACHI」としてEUに定着させるため、厳しい輸出検疫条件に対応した園地整備や、トップシェフを対象にしたプロモーションに取り組んだ。 (7,354) |
| | 木になる海外販売実践モデル事業 | 県産材増産に対する新たな需要を創出するため、東・東南アジアに整備された「県産材ショールーム」を「海外における県産材情報発信・交流拠点」として活用するとともに、販路開拓に向け、エージェントによる販売促進活動を展開した。 (5,793) |
| 4 生産を『支える』 | | |
| (1) 農業生産基盤の整備及び保全 | 農地売買支援事業 | 意欲ある担い手の経営安定を図るため、売買の手法を用いて農地の集積を推進した。 (776) |
| | 規模拡大による「もうかす農業」サポート事業 | 農地利用の効率化・高度化による生産性の向上や農業経営の安定化につなげるため、「農地中間管理機構」による農地集積を支援するとともに、機構に農地を貸し付けた農業者に対して、機構集積協力金の支援を行った。 (101,647) |
| | 経営体育成支援事業 | 担い手の経営発展を支援するため、「人・農地プラン」における地域の中心となる農業者等が経営規模の拡大や経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入に対し支援を行った。 (47,189) |
| | 担い手確保・経営強化支援事業 | 意欲ある農業経営体を育成するため、適切な「人・農地プラン」が作成されており、農地中間管理機構を活用している地区等において、売上高の拡大や経営コストの縮減などに取り組む地域の担い手が、融資を受けて農業経営体の発展に取り組む場合に必要な機械・施設の導入を支援した。 (26,745) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------|---------------------|--|
| | 経営体育成基盤整備事業 | 農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、地域の実情に応じたきめ細やかな農業基盤の整備を推進するとともに、担い手への農地集積を促進することにより、次代の農業生産を担う経営体の育成を行った。 (483,079) |
| | 広域営農団地農道整備事業 | 農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生の防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (908,269) |
| | 地盤沈下対策事業 | 地下水の汲み上げ等に起因した地盤沈下により、機能低下した用排水施設の機能回復を図るため、用排水施設の整備を実施した。 (386,104) |
| | 国営附帯県営農地防災事業 | 国営総合農地防災事業と一体で事業効果を発現させるため、関連事業として農業用排水施設等の整備を実施した。 (688,144) |
| | 県営かんがい排水事業 | 農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し、水利利用の安定と合理化を図るため、排水施設の整備を実施した。 (146,247) |
| | 基幹水利施設ストックマネージメント事業 | 既存の基幹的農業水利施設について、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図るため、施設の補修等の整備を実施した。 (194,870) |
| | 県営農業水利施設保全合理化事業 | 既存の農業水利施設について、水利用・水管理の効率化・省力化、施設の安全性の向上を図るため、機能診断・補修等の整備を実施した。 (345,430) |
| | 吉野川下流域地区国営総合農地防災事業 | 吉野川下流域3市5町における農業用水の水質悪化、地下水の塩水化、農業水利施設の機能低下を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、取水施設の統合(水源転換)、幹線用水路等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (1,677,785) |
| | 那賀川地区国営総合農地防災事業 | 那賀川下流域における農業用水の水質保全、農業水利施設の老朽化を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、幹支線用水路、取水堰等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (722,240) |
| (2) 林業生産基盤の整備及び保全 | 森林環境保全整備事業 | 森林の持つ多面的機能の維持・増進や、生物多様性の保全を図るため、施業の集約化や路網整備などによる低コスト化を進めつつ、計画的な森林整備を実施した。 (945,037) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-------------------|-------------------|--|
| | 公有林化推進事業 | 徳島の豊かな森林を次代へ引き継ぐため、基金を活用し、県有林化等の推進及び市町村有林化等への支援を実施した。 (18,000) |
| | 県産材生産・供給システム推進事業 | 県産材の生産力強化や安定供給の確保を図るため、航空レーザー測量を実施して森林資源量の把握や最適な路網配置を推進するとともに、低コストで効率的な木材生産に向けた取組みを支援した。 (576,664) |
| | 森林資源3Dデータ構築事業 | 森林所有者情報や土地の境界情報を効率的に整備し、作業道や林道などの路網計画や施業計画を省力化するため、既存データ等を活用した森林の地図情報の3D化を推進し、効率化と精度向上を図った。 (10,330) |
| | 森林基盤整備事業（再掲） | 木材の搬出コストの低減や森林の適切な管理のため、林道及び林業専用道の整備を推進した。 (1,962,220) |
| | 県単独林道事業（再掲） | 林道の機能性や利便性の向上等を図るため、国庫補助の対象とならない林道の開設、改良、舗装等の助成及び県営による施設整備を実施した。 (112,094) |
| | 保安林整備管理事業 | 森林の適正管理や森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、保安林を計画的に指定するとともに、適正な維持管理を実施した。 (8,578) |
| | 「とくしま県版保安林」整備管理事業 | 「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づき、河川の源流域で県・市町村有林や保安林と一体的に森林を管理するため、「とくしま県版保安林」に指定し、森林の公益的機能の高度発揮と公的管理を推進した。 (3,169) |
| (3) 漁業生産基盤の整備及び保全 | 漁村防災・減災力向上支援事業 | 漁業生産基盤を強化するため、漁協が行う鮮度保持施設の整備に対する助成を行った。 (54,184) |
| | 広域漁港整備事業 | 円滑な漁労活動に寄与するとともに、漁港施設はもとより背後集落の防災減災対策のため、物揚場や岸壁、防波堤等の機能強化を図った。 (169,748) |
| | 水産物供給基盤機能保全事業 | 漁港の長寿命化対策のため、物揚場修繕工事や、漁港の水域施設に係る長寿命化計画を策定した。また、機能強化対策として岸壁の耐震化工事を行った。 (306,132) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---------------------|-------------------|---|
| (4) 南海トラフ・直下型地震への対応 | とくしま海岸漂着物地域対策推進事業 | 底引き網への混入，漁港内での漂着や滞留など，漁業活動の大きな障害である「海ごみ」を除去するため，掃海（除去，処分）を実施した。 (10,201) |
| | 水域環境保全創造事業 | 沿岸漁業の安定的な発展と水産物の供給の増大に寄与するため，藻場造成を実施した。 (188,240) |
| | 地籍調査事業 | 大規模自然災害が発生した場合の「被災後の早期復旧・復興」に対応するため，「防災・減災対策関連の重点エリア」である「津波浸水被害関連地域」，「中央構造線直下型地震関連地域」，「山地災害関連地域」における地籍調査を促進した。 (1,051,738) |
| | 農業版BCP実践力向上モデル事業 | 大規模災害からの速やかな営農再開を目的とした農業版BCPの普及を促進するため，モデル地区における土地改良区BCPの策定を支援するとともに，各種訓練を実施し，BCPの実践力の向上を図った。 (818) |
| | 老朽ため池等整備事業 | 農地及び農業用施設にかかる災害の発生を未然に防止するため，老朽化したため池等の整備を実施した。 (298,883) |
| | 震災対策農業水利施設整備事業 | 南海トラフ巨大地震等に備え，災害を未然に防止するため，ため池等の土地改良施設の現状を確認し，施設の耐震性を点検・調査するとともに，ハザードマップを作成した。 (393,334) |
| | 漁港海岸保全施設整備事業 | 漁港海岸における「地震・津波」対策として，「徳島県海岸保全基本計画」の中で，住民の生命を守ることを最優先に，「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設整備を実施した。また，老朽化対策として長寿命化計画を策定した。 (112,458) |
| | 治山事業 | 中山間地域の生活環境の保全を図るため，台風・豪雨等による荒廃林地の復旧，山地災害や流木被害の予防，水資源確保のための森林整備を実施した。 (1,948,089) |
| (5) 自然災害等への対応 | 森林基盤整備事業（再掲） | 山村地域の保全を図るため，林業経営の効率化のみならず，災害時には緊急輸送路を補完する機能を併せ持つ林道の整備を推進した。 (1,962,220) |
| | 耕地地すべり防止事業 | 農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における，地すべり被害を防止・軽減するため，各種の地すべり対策工事を実施した。 (477,603) |

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|----------------------------|------------------------------|---|
| | 湛水防除事業 | 流域の開発等によって、雨水が流れ出す状況に変化が生じ、湛水被害が頻発している地域において、被害の発生を未然に防止するため、排水施設を整備した。 (122,358) |
| | 災害関連緊急地すべり防災事業 | 平成30年7月豪雨により、地すべりが活発となった農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域において、地すべり対策工事を行い、農用地、農業用施設、公共施設の災害を未然に防止した。 (18,478) |
| | 治山事業（再掲） | 中山間地域の生活環境の保全を図るため、台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害や流木被害の予防、水資源確保のための森林整備を実施した。 (1,948,089) |
| | 林野地すべり防止事業 | 林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (264,360) |
| | 県単独治山事業 | 住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。 (123,750) |
| | 治山流木緊急対策事業 | 流木による被害拡大を防止するため、「人家」等重要な保全対象の上流にある「溪流内」の不安定な樹木の除去を行った。 (7,570) |
| | 国庫補助関連事業 | 治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。 (9,397) |
| | 「森林（もり）の番人」を活用した森林の監視・情報収集事業 | 森林の監視と情報収集体制を強化するため、地域に根ざした「森林（もり）の番人」を認定し、適正な管理による森林の公的管理を推進した。 (3,834) |
| 5 地域を『守る』 | | |
| (1) 多様な主体による協働活動と農林水産業への参画 | 徳島森林づくり魅力発信事業 | 森づくりの魅力を広く発信するため、カーボン・オフセットの仕組みを森づくりの分野に導入し、企業や県民等からの寄付金を活用し、植林や間伐等の森林整備を実施する「とくしま協働の森づくり事業」を推進した。 (4,902) |

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---------------------|--------------------------|---|
| | とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業 | 農山漁村地域の保全・活性化を図るため、企業・大学・NPO法人等（協働パートナー）の農山漁村地域における協働活動を促進した。 (1,756) |
| (2) 都市農村交流と移住・定住の促進 | 徳島発！輝くむらのたから展開事業 | 活力と魅力にあふれた農山漁村を創出するため、農林水産業とこれに関連する食・景観等を未来に伝えるべき資源「むらのたから」として認定するとともに、この資源を活用し「農泊」に取り組む地域を育成した。 (3,642) |
| | とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業（再掲） | 農山漁村地域の保全・活性化を図るため、企業・大学・NPO法人等（協働パートナー）の農山漁村地域における協働活動を促進した。 (1,756) |
| (3) 中山間地域等への支援 | 中山間地域等直接支払事業 | 中山間地域が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、条件が不利な傾斜地での農業生産活動について、平坦部との格差を補正した。 (271,109) |
| | 多面的機能支払交付金事業 | 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等が行う水路・農道等の農業生産資源の基礎的保全活動や農村環境の保全、農業用施設の長寿命化のための活動を支援した。 (525,465) |
| | 中山間地域農村活性化総合整備事業 | 農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農作業の省力化や生活環境の改善を図るため、農業用排水、農道など生産基盤の整備を総合的に実施した。 (349,386) |
| | 集落基盤整備事業 | 農業振興地域において、農業生産性の向上を図るため、土地改良区が実施する農業用排水施設整備を支援した。 (22,800) |
| | あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業 | 農山漁村の魅力向上や住民主体の課題解決力の向上を図るため、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から実践までをパッケージとして支援した。 (5,249) |
| | 森林基盤整備事業（再掲） | 林道利用者の多様化するニーズに対応するため、ワンストップで応える「とくしま林道ナビ」の掲載情報を充実させるとともに、更なる利用促進を図った。 (1,962,220) |
| (4) 鳥獣による被害の防止 | 獣害に打ち勝つ「地域力」強化事業 | 地域ぐるみによる鳥獣対策の実施体制を強化するため、専門員による指導体制の強化と人材育成、効果的な有害鳥獣の捕獲や追い払いの実証等、防除手法の普及を行った。 (132,671) |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|-----------------------------------|--|--|
| (5) 地球環境の保全への貢献 | 「阿波地美栄」新時代創生事業 | 日本ジビエサミットの本県開催を契機とした「阿波地美栄」のブランド力を高めるため、ジビエの安定的な供給体制の整備や安全性の強化、加工品の開発等による消費拡大を図った。 |
| | | (6,304) |
| | 「とくしま狩猟マイスター」への道プロジェクト事業 | 次世代の狩猟者を育成・確保するため、新たに狩猟免許を取得する者や狩猟免許所持者を対象に、狩猟の知識や実践的な捕獲技術に関する講座を実施した。 |
| | | (4,507) |
| | 野生鳥獣エシカル消費推進ネットワーク構築事業 | 捕獲した野生鳥獣の利活用拡大を図るため、捕獲から消費まで一貫した取組みを推進した。 |
| | | (2,673) |
| | 指定管理鳥獣捕獲等事業 | 指定管理鳥獣（ニホンジカ・イノシシ）による農林業及び自然植生等への被害を防止するため、認定鳥獣捕獲事業者による管理捕獲を実施した。 |
| | | (93,490) |
| | 狩猟者育成確保対策事業 | 狩猟者による事故を防止するため、安全狩猟に関する技術講習会の開催や普及啓発活動を実施した。 |
| | (2,375) | |
| ニホンザル適正管理事業 | ニホンザルによる農林業及び生活環境への被害を防止するため、行動調査や個体数管理を実施した。 | |
| | (5,988) | |
| 使用済農業資材適正処理対策事業 | 使用済農業生産資材の適正な処理を推進するため、県農業用廃プラスチック協議会の運営支援を行い、効率的な回収、処理体制の確立を図るとともに、排出農業者への意識啓発を行った。 | |
| | (1,007) | |
| 畜産バイオマス利活用推進事業（再掲） | 畜産経営における環境汚染の発生防止や家畜排せつ物の適正管理及び利用の促進を図るため、畜産環境保全に係る推進・指導を行った。 | |
| | (531) | |
| 畜産バイオマス利活用整備事業（食鳥副産物有効利用促進事業）（再掲） | 県内食鳥産業の振興と畜産環境の保全を図るため、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。 | |
| | (28,648) | |
| 県単独林業生産等支援事業 | 多様で豊かな森づくりを進めるため、間伐や更新伐、作業道の開設、広葉樹の植栽等への支援を実施した。 | |
| | (51,569) | |

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

| 項 目 | 事 業 名 | 事 業 内 容 及 び 成 果 |
|---------------|--|--|
| (6) 地球温暖化への対応 | 治山事業（保安林整備事業・水源地域整備事業）（再掲） | 中山間地域の生活環境の保全を図るため、手入れ不足による過密化など荒廃した森林（保安林）を整備し、森林吸収源としての機能回復・強化を図った。 (1,948,089) |
| | 保安林整備管理事業（再掲） | 森林吸収源の機能の維持増進を図るため、保安林の指定を計画的に行い、森林の適正な管理を行った。 (8,578) |
| | 競争に打ち勝つ！徳島新たな米づくり展開事業（再掲） | 生産調整の見直しに伴うコメ農家の経営安定を図るため、新品種育成や食味向上、地場産業と一体となったコメ戦略、新技術等を活かした生産の効率化など、徳島ならではの米づくりを推進した。 (1,211) |
| | 農林水産オープンイノベーション推進事業（再掲） | 農林水産業の成長産業化を図るため、産学官それぞれの強みを活かしたオープンイノベーションの推進により、スマート化技術の開発や6次産業化、食品の機能性を活用した新たな需要の創出、気候変動に対応する新品種開発など、革新的な技術開発を進めた。 (24,862) |
| | 湛水防除事業（再掲） | 流域の開発等によって、雨水が流れ出す状況に変化が生じ、湛水被害が頻発している地域において、被害の発生を防止するため、排水施設を整備した。 (122,358) |
| | 治山事業（再掲） | 中山間地域の生活環境の保全を図るため、山地に起因する災害の早期復旧や未然防止を目的とした対策を計画的に実施するとともに、荒廃森林（保安林）の機能回復・強化を目的とした森林整備を実施した。また、併せて危険箇所や施設の調査・点検パトロールを実施した。 (1,948,089) |
| | 林野地すべり防止事業（再掲） | 林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (264,360) |
| | 県単独治山事業（再掲） | 住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。 (123,750) |
| | 治山流木緊急対策事業（再掲） | 流木による被害拡大を防止するため、緊急点検の結果に基づき、流木の発生原因となる「溪流内」の不安定な樹木の除去を実施した。 (7,570) |
| 国庫補助関連事業（再掲） | 治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。 (9,397) | |

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較 |
|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|-----------|-----------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 777,076,000 | 718,136,999 | 718,136,999 | 0 | 0 | △ 58,939,001 |
| もうかるブランド推進課 (輸出・六次化推進室) | 354,141,000 | 310,428,566 | 310,428,566 | 0 | 0 | △ 43,712,434 |
| 鳥獣対策・ふるさと創造課 | 411,811,000 | 388,996,760 | 388,996,760 | 0 | 0 | △ 22,814,240 |
| 畜 産 振 興 課 | 65,452,000 | 66,670,949 | 66,670,949 | 0 | 0 | 1,218,949 |
| 林 業 戦 略 課 (新次元プロジェクト推進室) | 5,541,924,000 | 4,250,772,685 | 4,250,772,685 | 0 | 0 | △ 1,291,151,315 |
| 水 産 振 興 課 | 160,377,000 | 134,374,385 | 134,374,385 | 0 | 0 | △ 26,002,615 |
| 漁 業 調 整 課 | 124,941,000 | 125,201,799 | 125,201,799 | 0 | 0 | 260,799 |
| 農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー | 1,285,398,000 | 1,087,701,805 | 1,087,701,805 | 0 | 0 | △ 197,696,195 |
| 農 山 漁 村 振 興 課 | 2,017,063,700 | 1,766,577,758 | 1,766,577,758 | 0 | 0 | △ 250,485,942 |
| 生 産 基 盤 課 | 6,373,911,540 | 4,226,119,092 | 4,226,119,092 | 0 | 0 | △ 2,147,792,448 |
| 森 林 整 備 課 | 6,032,487,188 | 3,272,918,866 | 3,269,683,866 | 0 | 3,235,000 | △ 2,762,803,322 |
| 計 | 23,144,582,428 | 16,347,899,664 | 16,344,664,664 | 0 | 3,235,000 | △ 6,799,917,764 |

(2)歳出決算額

(単位:円)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|-------------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 1,869,319,000 | 1,805,981,859 | 0 | 63,337,141 | 63,337,141 |
| もうかるブランド推進課 (輸出・六次化推進室) | 909,909,000 | 844,439,983 | 0 | 65,469,017 | 65,469,017 |
| 鳥獣対策・ふるさと創造課 | 566,185,000 | 539,823,532 | 0 | 26,361,468 | 26,361,468 |
| 畜 産 振 興 課 | 610,605,000 | 592,394,672 | 6,626,880 | 11,583,448 | 18,210,328 |
| 林 業 戦 略 課 (新次元プロジェクト推進室) | 7,019,032,000 | 5,526,887,579 | 1,414,339,000 | 77,805,421 | 1,492,144,421 |
| 水 産 振 興 課 | 516,686,000 | 473,214,511 | 0 | 43,471,489 | 43,471,489 |
| 漁 業 調 整 課 | 323,268,000 | 303,514,157 | 0 | 19,753,843 | 19,753,843 |
| 農 林 水 産 総 合 技 術 一 支 援 セ ン タ | 4,153,763,000 | 3,691,170,745 | 192,241,000 | 270,351,255 | 462,592,255 |
| 農 山 漁 村 振 興 課 | 2,813,918,542 | 2,299,494,225 | 497,841,258 | 16,583,059 | 514,424,317 |
| 生 産 基 盤 課 | 12,786,704,096 | 9,094,688,340 | 3,497,219,289 | 194,796,467 | 3,692,015,756 |
| 森 林 整 備 課 | 10,572,680,000 | 5,765,953,256 | 4,755,273,000 | 51,453,744 | 4,806,726,744 |
| 計 | 42,142,069,638 | 30,937,562,859 | 10,363,540,427 | 840,966,352 | 11,204,506,779 |

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 | 予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較 |
|---------------|----------------------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 農業改良資金貸付金 特 別 会 計 | 4,486,000 | 39,243,452 | 24,759,438 | 0 | 14,484,014 | 20,273,438 |
| | 林業改善資金貸付金 特 別 会 計 | 15,434,000 | 279,383,747 | 274,416,345 | 0 | 4,967,402 | 258,982,345 |
| | 沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計 | 798,000 | 276,182,049 | 276,182,049 | 0 | 0 | 275,384,049 |
| | 計 | 20,718,000 | 594,809,248 | 575,357,832 | 0 | 19,451,416 | 554,639,832 |
| 林 業 戦 略 課 | 県有林県行造林事業 特 別 会 計 | 249,540,000 | 232,593,084 | 232,593,084 | 0 | 0 | △ 16,946,916 |
| | 港湾等整備事業 特 別 会 計 | 0 | 929,216 | 929,216 | 0 | 0 | 929,216 |
| | 計 | 249,540,000 | 233,522,300 | 233,522,300 | 0 | 0 | △ 16,017,700 |
| 合 計 | | 270,258,000 | 828,331,548 | 808,880,132 | 0 | 19,451,416 | 538,622,132 |

(2)歳出決算額

(単位:円)

| 区 分 | 会 計 名 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較 |
|---------------|----------------------------------|-------------|-------------|--------|------------|---------------------------------|
| 農 林 水 産 政 策 課 | 農 業 改 良 資 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 4,486,000 | 4,256,502 | 0 | 229,498 | 229,498 |
| | 林 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 15,434,000 | 109,650 | 0 | 15,324,350 | 15,324,350 |
| | 沿 岸 漁 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計 | 798,000 | 725,774 | 0 | 72,226 | 72,226 |
| | 計 | 20,718,000 | 5,091,926 | 0 | 15,626,074 | 15,626,074 |
| 林 業 戦 略 課 | 県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計 | 249,290,000 | 231,815,556 | 0 | 17,474,444 | 17,474,444 |
| | 港 湾 等 整 備 事 業 特 別 会 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 249,290,000 | 231,815,556 | 0 | 17,474,444 | 17,474,444 |
| 合 計 | | 270,008,000 | 236,907,482 | 0 | 33,100,518 | 33,100,518 |